

R6年度 泉大津市『シーバスパーク』エリア一体指定管理業務 企画事業及び自主事業 目標シート

事業項目	5ヶ年の目標	令和6年度目標	令和6年度成果・課題
統括管理業務			
統括マネジメント業務（管理運営方針）			
事業体制の構築 （職員の研修計画）	本業務を一元管理できるような業務実施体制の構築。 出来る限り地域の人材雇用及び育成。 持続可能な管理運営体制の構築。 様々なプロフェッショナルを有する本部との定期会議の開催。 本部からのフォローアップ、これまで培ってきたノウハウを活かした職員研修等による継続した人材の育成。	・JV運営委員会 年2回 ・JV定例会議 月1回 ・現場ミーティング 週1回 ・地域人材の雇用 ・スタッフ研修の実施（各種類1回）	・JV運営委員会を年2回実施 （第1回：8月22日、第2回：2月19日） ⇒シーバスパーク・パートナーズ共同企業体間での日常での課題共有や以降半期ごとの取り組みや方針について議論することができた ・JV定例会議を月1回実施（4月～3月） ⇒シーバスパーク・パートナーズ共同企業体にて月次報告を中心に、今後の改善点などの議論を重ねた ・現場ミーティング ⇒毎日の現場朝礼での業務確認を中心に、現場ミーティングは適宜実施、さらに月1回の本部とのミーティングを実施し、情報共有と進捗確認を行った ・地域人材の雇用 ⇒現地在住スタッフを雇用継続 ・スタッフ研修の実施 ⇒熱中症の応急処置（7月24日実施） ⇒大雨・強風による危機（台風・津波）（8月1日実施） ⇒イベント時における緊急対応（9月13日実施） ⇒消防頭上訓練（10月1日実施） ⇒人権研修・コンプライアンス研修（1月29日実施/草津川跡地公園と合同研修） ⇒マナー研修（2月7日実施/草津川跡地公園と合同研修）
市との連携体制の構築（四半期に1回）	定期的に各事業の責任者等を集めた会議を開催するなど情報共有や業務調整の促進。	・市との連絡会議 年4回	- 第1回：6月19日、第2回：9月26日、第3回：12月17日、第4回：3月13日 ⇒協議シートを使用して協議を進行。市民からの声や指定管理者からの要望等について議論を図った
事業評価業務（事業評価計画）			
センサリーツアーによるモニタリングと事業のスパイラルアップ（年2回）	年間管理運営計画のPDCAサイクルの評価手法を取り入れ、事業計画、運営方針の効率化と品質向上。	・センサリーツアーの開催によるハード面、ソフト面のモニタリング（年2回） ・管理運営マニュアルの更新 ・管理運営のルール更新	・センサリーツアーの開催によるハード面、ソフト面のモニタリング （第1回：9月26日、第2回：3月13日） ⇒第1回目には園内の修景候補や利用面や景観面での是正箇所の指摘を受け、第2回目では是正項目の確認や検討事項議論を行った ・その他、管理運営におけるマニュアル及びルールの更新をし、効率化と顧客満足度向上に繋げた
来園者・売上・稼働率把握	来園者カウントの精度向上により、正確な人数把握やデータの活用、来園者のニーズ調査等の実施。	・来園者数カウント（休館日を除く） ・稼働率、売上把握（休館日を除く） ・来園者・利用者アンケートの実施（PDCA）	・来園者カウント ⇒キャリアの位置情報を利用した人流分析ツールを継続利用中 ・稼働率、売上把握 ⇒毎月の施設・園地利用、稼働率、売上を集計し、利用の傾向と課題を抽出 ・来園者・利用者アンケートの実施 ⇒合計143件の回答を獲得。利用ニーズを把握し、改善に繋がった
中間支援業務			
協議会			
公園関係者を集めた全体協議会	次年度の事業計画を共有を行い、ルールや新しい事業に関する協議の場の形成。 新しい出会いによる新たな事業の創出、既存の枠組みでは出てこなかった解決策を構築するなど、行政、市民、事業者等の協働による公園管理運営。	・地域関係者によって構成される会議体づくりの取組	- 令和6年度協議会の開催（3月25日） ⇒泉大津市、シーバスパーク・パートナーズ共同企業体、シーバスパーク・クラブ、地元自治会を一堂に会し、年間事業報告や市民目線でのご意見をいただきながら議論する等、有意義な会となった。
市民活動部会			
会の組成マネジメント	責任を持ち自立した団体として育成支援をおこなうため、市民活動支援に特化したコーディネータの配属による継続的マネジメント。 『シーバスパーク』エリアの運営や活性化に寄与する市民のアイデアや、ステークホルダーが集う会の組成。	・シーバスパーク・クラブとの定例会議（月1回） ・シーバスパーク・クラブ事務局の自立化支援 ・農園、どろんごリングの市民主体活用を目指した組織立ち上げ	・クラブ代表及び副代表との定例会議を毎月実施し、イベント等活動に関する協議、調整や指定管理者の自主事業など情報共有を行い、連携を図った ・クラブの主催イベントにてどろんごリングを活用したプログラムを実施し、今後クラブ内での活用に繋げることができた

事業項目		5ヶ年の目標	令和6年度目標	令和6年度成果・課題
	市民活動を支える管理運営 ルールの構築	市民自らが責任をもって公園に関わっていく対 価としてのインセンティブ、減免等のルールづ くり。 将来公園運営に関わるための自立と責任の育 成。	・市民活動による日常プログラム実施のルールと企 画運営フローの策定、支援 ・シーバスパーク・クラブの活動ルール周知サポ ート	・メンバー個々が主体となる活動、公園利用も目標に、クラ ブ内に発足した部会による活動（イベント）実施し、活動経 験を積むことができた ・クラブ主催イベントにて、コンセプトブックの配布、のぼ りや横断幕などを使ったPR活動の支援を行った
	日常プログラムの形成	持続的な公園の賑わい創出につながる日常プロ グラムの形成。 魅力的な公園利用を考えたり、チャレンジでき る仕組みづくり。	・日常プログラム実施説明会（新規メンバー）1回 ・日常プログラム相談窓口の設置 ・日常プログラム企画運営サポート ・広報連携による情報発信	中間支援・市民活動サポート担当スタッフが、イベント企画 の相談や実施サポートを行った
リビングラボ部会				
	リビングラボ構築支援	リビングラボの1拠点となるための、プログラム 開発や実証実験等の実現に向けたサポート。	・市の担当所管から課題把握、事業立案のサポート ・必要に応じて情報共有会議へ参加	令和6年度では、泉大津市のリビングラボ構想の検討が続いて いることに伴い、大きな進捗は得られなかった
エリアネットワーク部会				
	ネットワーク構築支援	エリアガイドの作成。 エリアネットワーク会議体の開催。	・市の担当所管から課題把握、事業立案のサポート ・既存周辺施設との広報連携 ・必要に応じて共有会議へ参加 ・周辺関係者等との連携体制の構築	⇒『IZUMIOTSU WELL-BEING EXPO 2024』の実施を契機 に、泉大津市と連携協定企業や団体・周辺関係者とのネット ワーク構築を実施した
利用促進業務				
利用促進業務（利用促進計画）				
	モデル事業となるイベント の開催	季節イベントの安定的な開催。 来園者、利用者の声を反映することによる利用 の促進。	・自主イベントの開催（春・冬（閑散期）） ・地縁団体、周辺事業者等のネットワーク構築 ・市民活動につながるチャレンジWS 2回	・自主イベントの開催 ⇒『GREEN JAMBOREE! 2024』の実施（5/12） ⇒『秋のちよいびる月間』の実施（10/12） ・地縁団体、周辺事業者等のネットワーク構築 ⇒地元出身デザイナーとの協働や、泉大津市を活動拠点とす る団体とのイベント協働を実施 ・市民活動につながるチャレンジWS ⇒『GREEN JAMBOREE! 2024』で個人の活動を支援 ⇒公園の緑への関心につながる樹木・葉っぱワークショップ の実施（3月、5月、11月）
	ブランディングに繋がる広 報展開	ホームページ、各種SNSへの掲載。 市民レポーターの育成、利用者目線による、 シーバスパークエリアの魅力発信。	・HP、SNS ・公園パンフレットの更新 ・外部メディアへの掲載 ・アナリティクスデータ分析と反映 ・シーバスパーククラブとの広報連携 ・市報への情報掲載 ・市民の広報協働ニーズの把握 ・デザインルールの構築	・HP、SNS ⇒情報発信ツールとして情報を随時発信 ・公園パンフレットの更新 ⇒R6年度はパンフレットの更新には至らなかったが、R7年度 に更新を予定 ・外部メディアへの掲載 ⇒計13件の外部メディアへの掲載（取材を含む） ・シーバスパーク・クラブとの広報連携 ⇒相互に情報共有をしながら、SNSやチラシを中心とした広 報連携を実施 ・市報への情報掲載 ⇒毎月1ページの専属ページにて継続掲載 ・市民の広報協働ニーズの把握 ⇒窓口や配架の相談の受け入れ ・アナリティクスデータ分析と反映 ⇒HPやSNSのアナリティクスデータにより、閲覧されやすい ページ及び閲覧者年齢層の分析
運営業務				
指定管理用地・施設の使用許可関係業務				
	安心安全な利用の確保	安定的な来園者数の確保。 均一な質を維持できる管理マニュアルの精査更 新。	・園内巡回による点検（毎日） ・早期発見・早期対応による修繕等の対応 ・日報や協議カードによる市との情報連絡 ・警察、行政、地域との協力体制 ・危機管理、緊急時対応フローの検証・改訂 ・夜間警備（毎日）	・園内巡回による点検 ⇒毎日、朝・夕・夜実施 ・早期発見・早期対応による修繕等の対応 ⇒園内巡回にて早期発見し、スタッフにて修繕、必要に応じ て業者依頼にて修繕を行った ・日報や協議カードによる市との情報連絡 ⇒日報は毎月報告、協議カードは適宜実施した ・警察、行政、地域との協力体制 ⇒夜間の悪質ないざがらが目立ってきていることに伴い、警 察への協力体制を仰ぎ、また行政にも適宜報告を行った ・危機管理、緊急時対応フローの検証・改訂 ⇒危機管理マニュアルを更新し、マニュアルをもとに社内研 修を実施 ・夜間警備 ⇒毎日警備員による警備を実施

事業項目		5ヶ年の目標	令和6年度目標	令和6年度成果・課題
	利用を促進する運営	ホームページやパンフレットなどでの利用ルールの公開。 スタッフによる利用者サポートの取組活動の実施。 わかりやすい予約方法の構築。	・市民・事業者コーディネーターの常駐 ・用地使用申請者へのサポート ・施設等利用状況のタイムリーな情報発信 ・施設貸出ルール等の見直し	・中間支援、市民活動サポート担当の専任スタッフを配置した ・申請者への相談窓口としてのサポートや、カレンダー発信によるタイムリーな情報発信を継続して実施。 ・より柔軟な利用を促進するために、園内のエリア貸しではなく出店毎に応じた利用受入れのルールに見直し
	パークセンター内の運営	施設利用者の利用内容や利用頻度を検証。 利用者アンケートなどから課題解決による運営改善。	・施設使用申請者へのサポート ・施設運営の課題抽出 ・施設運営の効率化、利用率の向上 ・利用に関する市民ニーズの把握	・施設使用申請者へのサポート ⇒電話・窓口を問わず、問合せに対する ・施設運営の課題抽出／利用に関する市民ニーズの把握 ⇒施設稼働率の分析や利用者アンケートの実施により改善事項の抽出と是正を行った ・施設運営の効率化、利用率の向上 ⇒スタッフ間での予約者情報をスムーズに引き継ぐための「顧客カルテ」の作成や、予約システムの定期的なメンテナンスを実施し、ストレスフリーな利用を促進
	コンテナハウス運営	安定した利用実績の確保。 スタートアップ事業者の利用サポート。 利用形態の多様性の検証。	・利用者サポート ・園地施設利用者とのPR連携	・広報等での利用者サポートを実施 ・園内イベント情報共有を行い、賑わいの相乗効果を狙った ・新たな利用者募集の構築
	市民ガーデン運営	プレイリーダー等による日常的な管理運営。 各シーズンによる活発な活用。	・収穫までの一連の農作業体験プログラム ・市民主体の利活用運営体制づくり	・マイファームによる収穫体験イベントや土づくりイベントを通して、市民が農に触れられる機会を継続実施。人気イベントとして定着してきている ・SPPC内でのホップ栽培による利活用
	どろんこ広場運営	日常の遊び場として定着。 プレイリーダー等によるイベント活用。 利用者による緩やかなコミュニティ形成。	・日常での安心安全な遊び場の提供 ・利用面での課題やニーズの把握 ・プレイリーダー人材発掘	・溜まった水の排水が適切に行われるよう、土の追加充填、排水孔の新設など、改修を行った ・シーバspark・クラブ主催イベント内で市民参加プログラムを実施し、活用するうえでの効果や課題を探った
維持管理業務				
指定管理用地の維持管理業務（管理施設、設備、器具備品等の維持管理方針）				
	公園を支えるベースとなるみどりの管理（植栽、芝生、どろんこ広場、市民ガーデン、せせらぎ、噴水広場）	高質なガーデンを創り将来に渡って美しい状態を保つ管理マニュアルの作成及び更新。 継続的な来園者確保に向けた整備及び管理。	・高中木管理（年1回程度） ・低木管理（自然樹形を基本とし、随時対応） ・地被植物管理（定期点検、定期灌水） ・施肥・病虫害駆除（点検を踏まえ実施） ・芝生管理（芝刈り、施肥を適切に実施） ・草地等管理（年2～4回程度） ・樹木点検と樹木診断 ・管理状況のデータ化、管理マニュアルの更新 ・市民参画ニーズに対応した協働管理	・高中低木・地被管理・管理状況のデータ化 ⇒年間管理計画を作成、生育状況に合わせて適切な剪定・施肥・灌水。薬剤散布等を実施。樹勢が弱い樹木が見られるため、状況に応じた対応策を検討・実施。気象状況や作業内容をとらまとめ、1ヶ月の総括表を作成している。 ・芝生管理 ⇒芝生専門業者へ委託。年間の管理計画の中で芝刈り、殺菌剤散布、目土作業を実施。 ・市民と協働で管理できる民間活用地の管理計画を作成、球根の植付体験会や切り花イベントを実施。
	快適な環境を維持する清掃及び維持管理（園内、パークセンター、トイレ、駐輪場）	利用者がいつでも快適に利用して頂くため、管理マニュアル及びチェックリストによる均一な管理。	・維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 ・毎日清掃（パークセンター、トイレ） ・定期清掃（パークセンター、園内） ・管理状況のデータ化、管理マニュアルの更新 ・作業効率化、費用削減の検討	・維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 ⇒月1回の施設点検に加え、日常的にチェックリストを用いた園内維持管理を行っている。 ・毎日清掃 ⇒シルバー人材センターの会員による毎日清掃を実施。 ・定期清掃 ⇒園内パトロールは毎日、パークセンター内清掃及び倉庫整理は定期的実施 ・作業効率化を図るためのルーティーン化や、有識スタッフによる費用削減を実施
指定管理用地内の施設の維持管理業務（管理施設、設備、器具備品等の維持管理方針）				
	公園を支えるベースとなる施設の管理（パークセンター、トイレ、倉庫、コンテナハウス、外構、警備）	マニュアルに基づいた施設別チェックリストによる均一な質の管理による来園者の満足度向上。	・維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 ・毎日点検（建築物、工作物） ・法定点検（消防用設備点検、照明放送設備点検、防犯カメラ保守点検、井戸・せせらぎ設備保守点検（各年1回）） ・臨時点検（建築物、工作物） ・管理状況のデータ化、管理マニュアルの更新 ・作業効率化、費用削減の検討	・維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理／毎日点検 ⇒月1回の施設点検に加え、日常的にチェックリストを用いた園内維持管理を行っている。 ・法定点検 ⇒消防設備点検：6月、12月実施 ⇒照明設備点検：7月、1月実施 ⇒防犯カメラ保守点検：1月実施 ⇒井戸・せせらぎ設備保守点検：井戸水濁水のため未実施 ・その他、作業効率化を図るためのルーティーン化や、有識スタッフによる費用削減を実施

